

ミノルタ千代光会 会報 No.152

目次：No. 152

| | |
|------------|---|
| 年頭のご挨拶 | 1 |
| 総会中止のご案内 | 2 |
| 事務局からのお知らせ | 2 |
| 理事会便り | 3 |
| 追悼の辞 | 3 |
| 会員便り | 3 |
| | |



「残雪の北アルプス」長野県白馬村で撮影した一コマです。
この地方では、四月半ば過ぎから遅い春を迎えます。
残雪の北アルプスの姿と桜や菜の花が共演している風景です。
〔撮影：寺内 伸也〕



年頭のご挨拶

令和四年一月一日

ミノルタ千代光会会長 大場 勝

会員の皆様におかれましては
良き新春を迎えられましたこと
を謹んでお慶び申し上げます。
令和もはや4年目を迎え、昨
年のオリンピック開催など令和
の出来事が刻まれつつあります
が、生活面ではコロナ禍による
不自由な日が本年まで続いてい
ます。

ミノルタ千代光会活動におい
ても昨年はその影響で総会や懇
親会など、会員同士の対面によ
る活動が一切実施出来ず残念な
一年でした。完全な終息には今
しばらく時を要するでしょうが
人間の英知で鎮まってく行き、再
びコロナ以前の活気ある活動に
戻れることを心より願っていま
す。

年々、日本人の平均寿命が伸
びて昨年は84・3才と世界一
となり、この喜ばしい高齢化傾
向は、会員年齢が60才から100
才まで平均年齢77才である当会
においては、将来の活動面では
大きな課題となることが予測さ
れます。また社会的現象として
「少子化」が課題となっていま

すが、当会に置き直すならば新
しく入会される方が以前と比べ
て減少傾向であり、千代光会活
動や運営における「高齢化・少
子化」の課題への対応を真剣に
考える時期であるとの認識を強
くしております。

本年の活動については、会員
が集まって顔を合わす2年振り
の機会が是非可能になることを
願っておりますが、コロナへの
対応は個人差があり、世間の動
向も考慮しながら全体行事の実
施を計画して参ります。理事會
や会運営のための打ち合わせ等
は幸いにもリモート会議を利用
して極力支障なく行なっていま
す。併せてホームページや会
報を通じて、皆様に関心を持つ
てもらえるような情報を発信
し、また皆様からの投稿をもと
に充実をはかって参りますので
ご利用いただきたく思います。
本年も会員が健やかに過ごさ
しに祈念し、引き続き活動へのご協力を賜
りますようお願いいたします。

2021年度 ミノルタ千代光会 総会中止のご案内

新型コロナウイルス感染症の感染リスク拡大により、会員の皆さまの健康第一・安全優先の観点から、皆さまにお集まり頂く総会は今年度も中止せざるを得ないとの結論に至りました。

中部地区会員の皆さまへ

コロナ再蔓延のため、3月の総会および懇親会を中止します。
報告&議決事項の書類は後日送付し賛否確認をさせていただきます。
尚、中部地区からの総会中止案内の連絡は致しませんのでご了承ください。

関西・関東地区会員の皆さまへ

コロナ禍のため、3月の総会および懇親会を中止します。
報告事項等の書類は後日お送りいたします。

おめでとうございます

田=中部地区会員
圃=関東地区会員
無印=関西地区会員

<古稀>

11月 米澤 保典
12月 藤田 順次 河野 節二
1月 垣内 得司^田 蔵渕 重成 米田 良秋
深谷 孝雄

<喜寿>

12月 小森 繁和 安田 勝也^圃 岩田 友一^圃
1月 山田 広二^圃 東本 等 妹尾 直英
太田 和夫 児玉 幸子 山西 昭夫

<傘寿>

11月 伊藤 政輝 猪村 邦男^圃 小倉 良信
12月 坂巻 宣幸 山根 勇 西 則光^圃
原 俊昭^圃 森 雅生 河合 潔^圃
太田 義勝
1月 谷口 碩彦^圃 朝田 睦雄 福田 實夫
中村 恵一^圃

<米寿>

11月 幾田 正司^圃
12月 小田 勇^圃
1月 梶山 繁 衣笠 義晴 伊井 栄市
中西 啓祐

<卒寿>

11月 中尾 房生^圃

事務局からのお知らせ

新入会員のお知らせ

(所属地区)

川田 修永 (関西)
森田 聡 (関西)
T. E (中部)

【会員状況】

1月18日現在

関西地区 [505名]
中部地区 [212名]
関東地区 [66名]
合計 [783名]

お悔やみ申し上げます

青木 喜三郎 2021年11月21日
小東 勤 2021年12月12日
新井 忠司 2021年12月18日
長谷川 吉加 2021年12月19日
柴田 道輔 2022年 1月 1日
奥村 脩 2022年 1月 1日

追悼の辞

2021年10月9日夜7時半和田さんから私の携帯に着信音。一瞬の嫌な予感的中し俊江奥様からの「幹司さんご逝去」の知らせでした。10月5日午前零時22分、パーキンソン病により、ご自宅で俊江奥様に見守られながら静かに極めて静かに77歳の生を閉じられました。1年前に「僕は歩けなくなりました。何もする気が無くなりました。藤吉さん、暫く一人にしてほしい」と電話がありました。気になりその後は奥様と手紙のやり取りで様子をお伺いして居りました。回復を念じて居りましたのに無念です。

和田さんは1967年ミノルタカメラ(株)入社、本社企画本部渉外法務部門(「リーガル」と呼称されていました)に配属され、ここでリーガルマインドを身につけられました。この事が和田さんの生涯にわたる人生観・仕事観



和田 幹司さん

10月5日死去

理事会だより

11月理事会 (WEB会議)

- ◇中期活動計画策定に当たって
(3地区合同理事会を実施)

12月理事会

- ◇2022年活動方針 (案)
- ◇2021年度高野山慰霊祭収支報告
- ◇関西地区議題
 - ・ 関西地区の総会について
 - ・ 活動費と本部・関西地区経費区分の変更について

他

2022年1月理事会 (WEB会議)

- ◇2022年度予算案について
- ◇関西地区議題
 - ・ 関西地区の総会について

他

となったと私は思っています。

1973年にアメリカに駐在され、本場でリーガルセンスを磨き国際ビジネスを経験されました。技術提携契約交渉で出張し交渉に行き詰った私を、ニューヨークの自宅に招き 俊江奥様の手料理で側面から助けて頂きました。

帰国後はカメラ事業に携われてその発展に寄与されました。その途上において業界注視の「米国ハネウェル特許訴訟」に深く関与されて米国裁判所の証人台に立たれた事もありました。後年欧州駐在となられ、ドイツハンブルグでそしてフランスでは社長として拡販に寄与されました。英国で社長をしていた私の最良の相談相手でもありました。

帰国後阪神淡路大震災に合われて家屋全壊。「地域の皆さんと助け合わない」との想いで追悼と復興の支援に没入され、地域の人々と深い絆を作られました。人を信じ愛し、人から慕われ続けた一生でした。和田さん、「リーガル部門」以来55年の長きにわたる交友、ありがとうございました。合掌

(藤吉 修忠)



会員便り

『ミノルタ事業所むかしいま』
を読んで

大阪国際ビルの思い出

関西地区会員 藻川 芳尚

1971年に入社し、事務機特機事業部に配属された私は、73年の大阪国際ビル6階南側に引越しのときは若手の戦力でした。国際ビルの地下2階に倉庫がありました。が、地下2階のエレベーター前は狭く、すぐ左の下り傾斜から右方向へ180度回る通路でした。はじめて台車で荷物を運んだとき、下り傾斜から右へ回る際に荷崩れを起こし、台車は後向きでゆっくり傾斜を下ってから前進することを学びました。

三河に勤務の後、88年から4階南東側にあった事務機(のち情報機器)技術サービス部サービス業務課に勤務、その後は人員や設備機器増等もあって、約7年の間に9階東南側、さらに6階西北側へと移動しました。同じ課でこれだけフロアを変った例はまれではないかと思えます。

2003年10月半ばの休日、総務部に勤務の私は国際ビルの明け渡しに立ち会うひとりとして出勤、残務整理と地下を含む借用場所を点検、施錠を確認して退出、コニカミノルタ日野サイトに赴きました。